

# 2023年教育カウンセリング・オンライン公開講演会 参加者感想アンケートまとめ

秋田県教育カウンセラー協会

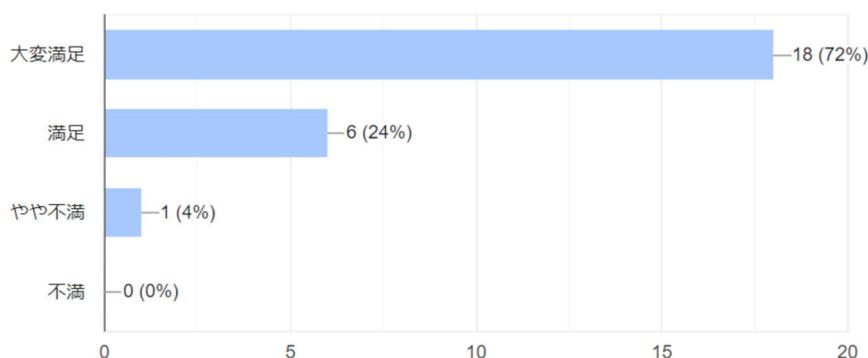
2023年7月8日（土） 13:30～15:30

公開講演会テーマ

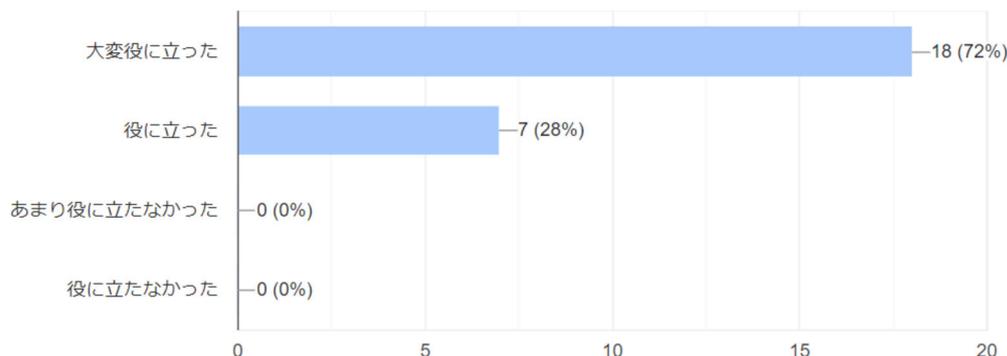
「起立性調節障害の理解と対応」

講師：水谷 翠先生（北摂総合病院 小児科医）

## ① 講演会全般について（回答数25名分）



## ② 講演会の内容について（回答数25名分）



## ③ 講演会の内容についての感想

☞ 小児科医院で起立性調節障害との診断が多いと感じますが、多くが学校不適應、不登校と進行していくことにモヤモヤを感じてきました。本日の講義で関連がよくわかりました。起立性調節障害（OD）のみならず、思春期の問題から頭痛のことまで、現場の「困った」を的確に把握したうえでの解説、回答が良かったです。教員やSC向けに「どうすれば良いか」の解説が丁寧で、ありがたかったです。

☞ 起立性調節障害（OD）については何もわからない状態で参加しましたが、前提知識がなくても言葉が難しくなくて安心して学びました。年齢的にかなり限られている症状であることと、高校生を専門に見てくれるところが少ないということに一番驚きました。対応も、たくさんの子どもに接している先生だからこそアドバイスが具体的で何より学校現場との連携もこまめにされているのだと思いました。学校現場や教員の状況もわかった上でのお話が多く、心強かったです。不登校へのアプローチの図が非常にわかりやすかったです。改善へのとっかかりは複数あって、できるところからやってみるとわかれば、希望が持てます。とはいえ、身体だけでなく環境から来る心の状態も絡むので、焦らず時間をかけて対応していく必要があるのだと思いました。

☞ これまで関わってきた生徒の顔を思い浮かべながら拝聴しました。朝は起きられないけれど必ず登校し、ほぼ欠席は無かった生徒を担当した経験があります。その生徒が不登校にならなかったのは、学校が（苦しかったことも多々あったかと思いますが）その生徒の居場所になっていたからかな、と先生のお話を拝聴して実感いたしました。起立性調節障害の病態についてわかりやすくご教授いただいたのに加え、具体的な事例も豊富に紹介していただき、大変勉強になりました。本当にありがとうございました。

☞ スクールカウンセラー（SC）をしておりますが、不登校に繋がった事例に出会った時、SCのできることは母親と対話を繰り返すことしかできませんでした。母親は焦らせたくないというお考えでいつかは自分から登校すると言いつつことにしていました。適切な登校刺激も望まない様子でした。

SCとして、もっとできることがなかったのか、どうしたら良かったのか改めて考える機会になりました。勉強になりました。同様の事例に出会った時の参考になると思います。ありがとうございました。

☞ 起立性調整障害について、エビデンスに基づいた専門的な内容でしたが、学校現場に落とし込んで説明してもらうことで、とても分かりやすく学ぶことができました。

☞ 配付資料にあるQ&Aが大変ためになりました。起立性調節障害（OD）について理解してもらえよう、同僚に働きかけたいと思います。

☞ 実際に起立性調節障害（OD）と診断された児童がいたので、今後も診断あるいは似た傾向のある児童に対しての対応について学びたいと思い参加しました。血圧や脈拍など科学的な根拠に基づいて診断されることや起立性調節障害にもタイプがあることがわかりました。重症度に応じて治療が異なること、その例が具体的に示されて大変参考になりました。うつ病に移行していかないように、いかに状況を把握し、保護者と連携し医療につないでいけるか、保護者へのアプローチについて、さらに学びたいと思いました。毎回この研修会に参加させていただき、職員にも広めていきます。

☞ 非常にわかりやすかったです。スクールカウンセラー（SC）、担任教諭、養護教諭、管理職など、参加者のそれぞれの立場から役割や課題を考える協議の場などが加われば、さらに実践に役立つ研修になると思いました。

☞ 中学校で不登校支援に関わっています。ずっと気になっていたテーマだったので、専門医の先生からわかりやすく講義をしていただき、とても有意義でした。特に、小児心身症についての話、思春期における不登校状態の話はとても納得できました。

- ☞ 起立性調節障害について、病理側面から、児童生徒への具体的な支援まで丁寧にご指導いただき、とても勉強になりました。現在教育支援センターで同病の生徒を担当しておりますので、即実践に役立つ内容でした。
- ☞ 「起立性調節障害」について、大変広く深く、具体的にお話いただきありがとうございました。大きい子への対応の経験が少なく少し難しいところもありましたが、息子たちのことを思い出しながら拝聴させていただきました。人それぞれの考え方、生き方があります。その人の特異性、言い換えれば「その人らしさ」を大事にしながら共に歩んでいきたいと、改めて思いました。そして、話し合うことの大切さ、よりよい環境をつくっていくことの大切さを痛感しました。ありがとうございました。
- ☞ 起立性調節障害については以前勉強しておりましたが、今回改めて詳しく講演会を聴かせていただき復習ができました。知識があっても調子がいいときの当事者に対応するとき、ほんとに起立性調節障害（OD）？と思うこともあり、反省しました。
- ☞ なんとなく分かっているようで実は知らなかったということが今回の研修会で分かりました。具体的な対応方法が大変参考になりました
- ☞ 普段からの悩みに、解決が感じられました。ありがとうございました。
- ☞ 若手講師の先生で話し方も好感度大で惹きつけられました。臨床的分析が分かりやすく、エビデンスに基づくご説明で大変勉強になりました。
- ☞ 最近生徒でよくなるものでしたので、詳しく知りたいと思い、拝聴しました。仕組み、声掛けなど、詳しく知ることができてよかったです。質問し損ねましたが、そのような生徒は概ね行事など楽しい日は朝から元気に登校します。それはなぜなのでしょう。現場で居ると、他の生徒からの理解を得ることの妨げになってしまうような気がして…。
- ☞ 大変勉強になりました。  
起立性調節障害（OD）が行事などの楽しみがあるときには調子がよく、誤解されることが多くありますが、検査結果などからよく理解できました。  
校内での共通理解に生かしたいです。
- ☞ 学生対応も難しいのですが、それ以上に親への対応の難しさもあるので、参考にしてみます。
- ☞ 保健室登校している児童が起立性調節障害（OD）と診断されています。今回講師から起立性調節障害（OD）対応について、詳細にわかりやすくお話され、今行っている対応を継続していこうと思いました。ただ、まだ小学生なので保護者も緊迫感なく、困り感等も感じられないので、中学生になった時に苦勞するのが、見えるのですがその時に困らないような心づもりを、理解出来るかどうか判りませんが、これから少しずつ話していけたらと思いました。
- ☞ 起立性調節障害（OD）についての理解を深めることができました。ありがとうございました。

☞ ここ最近、スポーツをしていて軽い熱中症のような症状になりました。軽いめまいだったのですが、メカニズムとしては起立性調節障害の症状同様、脳への血流の不足のように思いました。幸い私は短時間で回復しました。もし、起立性調節障害に悩む方々が、日常的にこのような症状と戦っているとすると、大変苦しいことかと思えます。

☞ 起立性調節障害は病気なんだなということがはっきりわかりました。

☞ 水谷先生お忙しいご講演いただきありがとうございました。先生の子どもに寄り添う心や自分の居場所を見つけてほしい、自立した社会人になってほしいという思いや願いがひしひしと伝わってきて、心強く思いました。

私は若いころ血圧が高いほうではなく、疲れると90 - 55とどんどん低くなっていくほうでした。(家系的に母も妹も。)だから起立性調節障害のお子さんは潜在的にいると感じました。そんな子どもたちに的確な診断と支援ができることはみんなが希望をもてます。これからも先生のご活躍をお祈りしております。本当にありがとうございました。

☞ 今回ご講演をご依頼するにあたり、田中英高先生(OD 低血圧クリニック田中 所長)、吉田誠司先生(大阪医科薬科大学病院小児科)が水谷翠先生に繋いでくださいましたが、研究グループ内の関係性が非常に素敵だなと思えました。

ご講演前に水谷先生からは参加者の職種の確認がございまして、それが参加された方々に寄り添った講義内容に繋がったのだと思います。私自身も、相談室で取り組みそのような具体的なお示唆をいただき、今後に生かしていきたいと思っております。

厚労省から出されているうつ病の認知療法・認知行動療法研修マニュアルのようなものが起立性調節障害にもあることで、支援する側や周りの人の起立性調節障害についての理解の深まりや基本的な対応につながるのではないかと思います。支援する側は、子どものよりよき理解者、代弁者となり、子どもの心と周りの人の心をつなぐ役割を果たせればと思います。

☞ 支援をする立場の人間が良かれと思って行った支援も医学的なほんの小さな知識に裏打ちされたものがなければ、かえって症状が悪化すると思います。今回の水谷先生のご講話はとてもわかりやすいものでした。朝起きることのできない生徒がいた時に考えられる事は、本人のやる気のなさのみに原因を帰属させる事は、子供にとって心の傷を与えてしまうことになりかねません。明日から使うことのできる医学の知見をいただき、感謝しております。

#### ④オンライン開催に関するご意見やご要望について

☞ 秋田県支部は、今、学校で対応を悩んでいる問題を良いタイミングで取り上げ、研修機会を提供してくれるので感謝しています。今後もよろしくお願いします。

☞ いつも、現在の子どもたちや現場の抱える課題等に合った内容の講演を企画していただきありがとうございます。

☞ オンラインでの参加は大変便利でした。自宅に居ながら各地の方々と学ぶことができ感謝致します。ブレイクアウトルームなどでの話し合いができれば身近な問題から別な視点での意見も伺うことができたのかも知れないと思っております。

- ☞ オンライン開催，とても参加しやすいです。これからも続けていただきたいです。
- ☞ 遠方なのでリアルでしたら参加できませんでした。これからの講座もぜひぜひオンラインでお願いします。
- ☞ 遠くから参加してくれる方が多くて刺激になります。もちろん物理的な負担も軽いので，講演会はオンラインがいいです。
- ☞ オンライン研修だと，自宅に居ながらにして遠くの講師からお話を伺えるので良いと思います。
- ☞ また講演会を企画してください。時間がなくて，足を運ぶ余裕がないため，オンラインは助かります。
- ☞ オンライン開催だと参加しやすいので，ぜひとも継続して頂きたいです。
- ☞ 教育カウンセリング協会の研修会の売りとして，早く入室された方とショートエクササイズなどができると良いのではないかと思います。
- ☞ 全国規模の参加者で勇気づけになりました。オンラインで助かりました。事務局さんの手慣れた対応にも感謝です。ありがとうございました。
- ☞ 期日を過ぎてからの参加申し込みでしたが，快く承諾いただきありがたかったです。参加費も適切で，当日までの連絡や当日の運営もよく考えられていたと思います。
- ☞ 締め切りを過ぎてからの申し込みでしたが快くお受けいただき感謝申し上げます。オンラインでの研修はとてもありがたいです。今後ともよろしく願いいたします。
- ☞ スタッフの先生方，ありがとうございました。おかげさまで，とても有意義な研修となりました。
- ☞ この会の準備にあたられた先生方に感謝申し上げます。

#### ◇今後受講したい講座のテーマや講師について

- ☞ 愛着障害の対応，不登校の対応など
- ☞ 発達障害と思われる生徒への対応の仕方，また，保護者がなかなか診察を受けてくれないときの声掛けの仕方，発達障害のある生徒の進路や適性のある職業などを知りたいです。発達障害と思われる生徒が最近ものすごく増えています。コロナ禍でコミュニケーションを取らずに過ごしてきたことの弊害でしょうか？
- ☞ 心理検査についての講座をお願いします。7月末に東京であったように思いますが m，年に一回ですと，不都合な場合一年待たなければなりません。
- ☞ 本田秀夫先生（信州大学医学部附属病院子どものこころ診療部長）

- ☞ 具体的なテーマとして言えないのですが、生徒が「学校は楽しいのに時々行きたくなくなるのはなぜか」と言っていたのが気になっています。西郷 孝彦氏（元 東京都世田谷区立桜丘中学校長）や、きのくに子どもの村学園、大阪市立大空小学校など、校則がない、生徒に決定権がある学校に興味があります。小国 喜弘氏（東京大学大学院教育学研究科 教授）。教育カウンセリングというより学校教育に寄りすぎてるかもしれません。
- ☞ 不登校生徒と病理についてもっと深く学びたいと思いました。
- ☞ 「不登校支援」（神村栄一先生（新潟大学教授））や「自律神経の整え方」、「マインドフルネス」（越川房子先生（早稲田大学教授））などを希望します。
- ☞ 保護者ではなく、支援者に必要なペアレントトレーニングの実習ができればと思います。
- ☞ 今年度の研修もとても興味深い内容です。11月と1月も楽しみにしております。

————— 公開講演会に参加された皆様、アンケートへのご協力をありがとうございました。  
秋田県教育カウンセラー協会では、皆様方のご期待にお応えできるよう、さらに努力してまいりますので、今後ともご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

A decorative graphic featuring the words "Thank you" in a cursive, pink font. The text is surrounded by several colorful hearts in shades of purple, blue, and pink, with some hearts appearing to be part of the lettering.

## 秋田県教育カウンセラー協会の事業のご案内

### ◆第2回ヒューマンネットワーク学習会

2023年8月20日(日) 13:30~16:00

「『温かなかかわり』を促す構成的グループエンカウンター」



### ◆2023年度 教育カウンセリング・オンライン研修講座

2023年11月12日(土) 10:00~16:30

「子どもの自殺リスクと予防教育」

講師：川野 健治先生（立命館大学総合心理学部 教授）

「ソーシャル・エモーショナル・ラーニングの理解と実際

ー非認知能力を育てる教育フレームワークー」

講師：渡辺 弥生先生（法政大学文学部心理学科 教授）

### ◆2024年教育カウンセリング・オンライン研修講座

2024年1月21日(日) 13:30~16:30

「愛着障害の支援の実際と支援体制のあり方」

講師：米澤 好史先生（和歌山大学教育学部 教授）

